

啓発パネル一覧

Y-① 「薬」の語源

[illegible]

Y-② くすりをのむとき
には・・・？

[illegible]

Y-③ 乳幼児編 くすりは
正しく上手に使おう！

乳幼児用漏 **「くすり」** は **正しく上手に使う！**



- ① **粉薬**は、少量の水・ぬるま湯でペースト状にして、舌で上あごにくっつけて飲ませてください。
- ② おくすりをミルクと混ぜても、**ミルク嫌い**になることがあるのでやめましょう。
- ③ **シロップ**は、スプーンやスポイドで少しずつ、できるだけのどの奥に流し込みましょう。

- ④ **坐薬**は、排便させてから使いましょう。
肛門のうがったほうから挿入し、しばらくの横臥を待たせておきましょう。
- ⑤ おくすりを使った後は、**子どもの様子をよく観察**するようにしましょう。
嘔吐や**下痢**や**じんましん**がでたり、**元気がない**、**いけいけん**や**もとの**ころがう様子がみられず、**医師**や**薬剤師**に相談しましょう。


Y-④ くすりと飲み合わせ

くすりと飲み合わせ

薬と薬の飲み合わせによって副作用が起きると、発症する可能性が、高くなるので必ず副作用が現れやすいとすることがあります。数種類の薬を併用する場合にも、薬の相性などに細心しましょう。

副作用は薬々うしろだけでなく、飲食物や嗜好品の摂取にも関心することがあります。

飲食物・嗜好品の相互作用

酒とアルコール アルコールによって代謝が促進されて発症する副作用が、高くなる可能性がある。 アルコールの過剰な摂取は副作用を増やすだけでなく、意識や判断能力の低下などを引き起こし、副作用の発症をよめます。	結核とワルファリン 結核に罹ることでタンパク質は、血中の濃度が低下し、血中濃度が低下することで薬（ワルファリン）の血中濃度が低下し、副作用が起きやすくなる。
薬と牛乳 牛乳に含まれるカルシウムは、ある種の薬の吸収を妨げるので吸収を妨げることで、その薬の効果や副作用が低下する。	薬とたばこ たばこの煙の中のある成分が肝臓での薬の代謝を促進するので、薬が効かなくなったり副作用が起きやすくなったりすることがある。
薬とコーヒ コーヒに含まれるカフェインは、ある種の薬の作用を妨げる。同じ作用を持つ薬を併用することで副作用のリスクを高める可能性がある。	薬とグループBビタミン 血圧を下げる薬の副作用として、頭痛やめまい、眩暈は、グループBビタミンの不足によって起こる。たばこに依存症が強く喫煙することによって、

Y-⑤ 副作用ってなに・・・？

副作用ってなに・・・？

薬を服用するとき、自分の体に対していろいろな働きをくわがたり、それによって目的の働きだけでなく、
 作用以外の働きも出てくる。

副作用とは、薬を服用するときにでてくる副作用
 で望んでいない働きにたいする働きをいいます。

副作用

主作用
 病気を治すための作用

副作用
 主作用以外の自分自身にと
 うな作用

副作用は、
 副作用

副作用があらわれたら・・・

副作用は、必ずおきるわけではなく、年齢、性別、年齢、
 性別、生活習慣などいろいろな要因が関係しています。

薬を飲んでいて、なににかつらそう、気になることが
 あったら、すぐにかかりつけの医師・薬剤師などに相談
 するようにしましょう。

副作用

副作用

副作用を防ぐために・・・

- 薬を飲むときに必ずよく読む。
- 薬を飲むとき、その薬が自分の体にならなくて
 いるか確認するようにしましょう。
- 薬を飲むときは、医師や薬剤師とよく相談で、副作用が
 出るのかを確認してください。

Y-⑥ 薬の正しい保管法

薬の正しい保管法

- 薬の誤飲を防ぐため、幼児・子ども手の届かないところに保管しよう。
- 湿気、日光、高温をさけて涼しい場所に保管しよう。
- 間違えて使用しないように、殺虫剤、農薬などと同じところに保管するはやめよう。
- また、飲み薬と外用薬は区別して保管しよう。

薬の内容や使い方がわからなくなるので、他の容器への入れかえはやめよう。

- 薬の有効期限を確認し、古い薬や外観に変化のある薬は使わないようにしよう。

く・ず・り

こんどにあるぞ！

外用薬

殺虫剤

殺菌剤

殺菌剤

殺菌剤

内服薬

殺虫剤

殺菌剤

殺菌剤

殺菌剤

注射薬

殺虫剤

殺菌剤

殺菌剤

殺菌剤

Y-⑦ おくすり Q&A

[illegible]

Y-⑧ おくすり Q&A

[illegible]

Y-⑨ ジェネリック医薬品

よく知って、活用しよう！

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品とは？

ジェネリック医薬品とは、有効成分の名称が元の薬に準じて、メーカーが異なるものとして製造・販売されている薬のことです。即ち「原薬が異なる薬」ともいわれることが多く、一般に成分の名称（ジェネリック名）が異なることが多くあります。ジェネリック薬品は、元薬品（オリジナル薬品）と同等の効力・効果を持ち、品質も同等とされています。これにより患者負担の軽減が図られています。

原薬とは何者か？

原薬は化学的に純粋な薬の成分のことです。ジェネリック薬品は原薬の純度を保ち、必要に応じて、剤形や包装を変えて、コストが低くつくように製造されています。原薬は、元薬品と同等の効力・効果を持ち、品質も同等とされています。

効力に差が出るのか？

ジェネリック薬品は、元薬品と同等の効力・効果を持ち、品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。

ジェネリック薬品とオリジナル薬品の違いは何か？

ジェネリック薬品は、元薬品と同等の効力・効果を持ち、品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。

ジェネリック薬品のメリット

ジェネリック薬品は、元薬品と同等の効力・効果を持ち、品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。

ジェネリック薬品は、元薬品と同等の効力・効果を持ち、品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。

オリジナルジェネリック薬品（AG）って何ですか？

オリジナルジェネリック薬品とは、有効成分の名称が元の薬に準じて、メーカーが異なるものとして製造・販売されている薬のことです。即ち「原薬が異なる薬」ともいわれることが多く、一般に成分の名称（ジェネリック名）が異なることが多くあります。ジェネリック薬品は、元薬品（オリジナル薬品）と同等の効力・効果を持ち、品質も同等とされています。これにより患者負担の軽減が図られています。

オリジナルジェネリック薬品は、元薬品と同等の効力・効果を持ち、品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。品質も同等とされています。それによって、効力に差が出ることはありません。

Y-⑩ 「かかりつけ薬剤師・薬局」を持とう！

[illegible]

Y-⑫ お薬手帳を活用しよう!!

[illegible]

Y-⑬ くすりと高齢者

[illegible]

